

財務報告書 2017

平成 28 事業年度

平成28年4月1日～平成29年3月31日



北海道公立大学法人札幌医科大学

目次

1. 財務概要	…P1
2. 平成28事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P9
4. 財務指標（年度間比較）	…P18
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P21
(2) 損益計算書	…P24

○財務概要

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は平成28年度末における財務状態を表したものです。
「資産」は前年度比8億円増加の481億円、「負債」は前年度比4億円増加の118億円、また
「純資産」は前年度比4億円増加の363億円となっています。

貸借対照表

【平成29年3月31日】

(単位：億円)

区分	27年度	28年度	増減
資産の部	473	481	8
【固定資産】	382	388	6
土地	115	115	0
① 建物等	213	218	5
② 備品	38	38	0
図書	8	8	0
その他固定資産	8	9	1
【流動資産】	91	93	2
③ 現金・預金	41	40	▲1
有価証券	0	0	0
④ その他流動資産	50	53	3
資産合計	473	481	8

区分	27年度	28年度	増減
負債の部	114	118	4
⑤ 資産見返負債	24	24	0
借入金	13	13	0
⑥ 未払金	40	40	0
⑦ 寄附金債務	10	11	1
その他負債	27	30	3
純資産の部	359	363	4
資本金	346	356	10
資本剰余金	▲26	▲33	▲7
⑧ 利益剰余金	40	40	0
負債・純資産合計	473	481	8

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

資産の部

①建物等：218億円（5億円減少）

・建物等218億円は、建物等の取得価格315億円から減価償却累計額97億円を控除した額です。

②備品：38億円（昨年度同額）

・備品38億円は、備品の取得価格179億円から減価償却累計額141億円を控除した額です。

③現金・預金：40億円（1億円減少）

・現金・預金は40億円で、昨年度より1億円の減となっています。

④その他流動資産：53億円（3億円増）

・主なものは、健康保険等の保険者から後日入金される未収附属病院収入が48億円で、3億円の増となっています。

負債の部

⑤資産見返負債：24億円（昨年度同額）

・資産見返負債は24億円で、資産を購入したことによる減価償却費です。

⑥未払金：40億円（昨年度同額）

・未払金の内訳は、1年以内支払分リース債務5億円及び4月以降に支払う物件費等です。

⑦寄附金債務：11億円（1億円増加）

・当期は受入、執行額ともに減少しましたが、前年度の受入額が多かったため、債務累計額は1億円増加しています。

純資産の部

⑧利益剰余金：40億円（昨年度同額）

・前中期目標期間繰越積立金36億円、目的積立金4億円の計40億円となっています。

費用・収益の状況

「損益計算書」は平成28年度の運営状況（経営成績）を表したものです。
 「経常費用」は前年度比1億円減少の324億円、「経常収益」は前年度比1億円減少の325億円です。
 この差額に臨時損益及び目的（繰越）積立金取崩を加えた当期総利益は、前年度と比べ1億円減少しています。

損益計算書 【平成28年4月1日～平成29年3月31日】

（単位：億円）

区分	27年度	28年度	増減
① 教育・研究等経費	23	22	▲ 1
② 診療経費	137	142	5
受託研究・事業費	4	3	▲ 1
③ 人件費	154	152	▲ 2
一般管理費	6	5	▲ 1
財務費用	1	0	▲ 1
経常費用	325	324	▲ 1
臨時損失	0	1	1
当期総利益	1	0	▲ 1
計	326	326	▲ 1

区分	27年度	28年度	増減
④ 運営費交付金収益	61	59	▲ 2
⑤ 附属病院収益	235	239	4
学生納付金収益	8	8	0
外部資金収益	9	9	0
⑥ 補助金収益	6	4	▲ 2
その他収益	7	6	▲ 1
経常収益	326	326	▲ 1
臨時利益	0	0	0
目的（繰越）積立金取崩	0	0	0
計	326	326	▲ 1

注）各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

経常費用

①教育・研究等経費：22億円（1億円減少）

・ 補助事業の減少に伴う経費の減

②診療経費：142億円（5億円増加）

・ 医薬材料費の増

③人件費：152億円（2億円減少）

・ 給与改定等に伴う所要額の増
 ・ 退職手当の減

経常収益

④運営費交付金収益：59億円（2億円減少）

・ 退職手当の減に伴う収益化額の減

⑤附属病院収益：239億円（4億円増加）

・ 診療単価等の上昇に伴う診療収入の増

⑥補助金収益：4億円（2億円減少）

・ 補助事業の減少に伴う収益化額の減

○平成28事業年度財務諸表の要約

貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部		
I	固定資産	38,788
1	有形固定資産	38,076
	土地	11,535
	建物	21,155
	構築物	684
	工具器具備品	3,818
	図書	843
	その他	41
2	無形固定資産	99
	特許権	33
	ソフトウェア	17
	その他	49
3	投資その他の資産	613
	投資有価証券	0
	未収財源措置予定額	581
	その他	32
II	流動資産	9,343
	現金及び預金	4,046
	未収学生納付金収入	0
	未収附属病院収入	4,820
	有価証券	0
	医薬品及び診療材料	381
	たな卸資産	7
	未収入金	83
	その他	6
	資産合計	48,131
運用状況		

負債の部		
I	固定負債	5,097
	資産見返負債	2,426 ※1)
	長期寄附金債務	417
	長期借入金	1,300
	引当金	8
	長期未払金	781
	資産除去債務	165
II	流動負債	6,747
	運営費交付金債務	560
	寄附金債務	1,107 ※2)
	前受受託研究費等	349
	1年以内返済長期借入金	520
	未払金	3,979 ※3)
	その他	232
	負債合計	11,844
純資産の部		
I	資本金	35,635 ※4)
II	資本剰余金	▲ 3,330 ※5)
III	利益剰余金	3,982
	前中期目標期間繰越積立金	3,595 ※6)
	目的積立金	379 ※7)
	積立金	0 ※8)
	当期末処分利益	9
	純資産合計	36,288
	負債・純資産合計	48,131
調達源泉		

【流動資産】
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】
業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

【純資産】
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金

【流動負債】
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

【固定負債】
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

- ※1) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための地方独立行政法人独自の勘定科目です。
- ※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金です。
- ※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。
- ※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せず、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。
- ※6) 前中期目標期間繰越積立金～前中期目標期間から繰り越しが認められた剰余金です。
- ※7) 目的積立金～自己収入の獲得増や効率的運営により生じた剰余金です。
- ※8) 積立金～経営努力によらない剰余金であり、翌期以降の損失の補填に充当します。

損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

費用

経常費用	32,426
業務費	31,945
教育経費	464
研究経費	1,334
診療経費	14,175
教育研究支援経費	430 ※1)
受託研究費	279
受託事業費	47
人件費	15,215
一般管理費	474
財務費用	6 ※2)

【業務費】

- ・目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
- ・「教育経費」「研究経費」等の業務費は、施設設備に係る減価償却費・保守経費を含む
- ・「受託研究費」「受託事業費」は、受託研究等に係る人件費を含む

収益

経常収益	32,551
運営費交付金収益	5,875
授業料等収益	827
附属病院収益	23,943
受託研究等収益	316
受託事業等収益	56
寄附金収益	542
施設費収益	58
補助金収益	367
資産見返負債戻入	291 ※3)
財務収益	1
雑益	277

【経常収益】

- ・「運営費交付金収益」及び「授業料等収益」は、資産を取得した分を除いた収益額
- ・「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越

経常利益	125
-------------	-----

臨時損失	119
臨時利益	3

【臨時損失】

- ・臨時損失は、固定資産の除却を計上

当期純利益	9
--------------	---

前中期目標期間繰越積立金取崩額	0
目的積立金取崩額	0 ※4)

当期総利益	9
--------------	---

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息

(償還利率 ㉓0.55%、㉔0.35%、㉕0.45%、㉖0.35%、㉗0.35%、㉘0.125%)

※3) 資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

※4) 目的積立金取崩額～目的積立金を財源とした費用相当額を計上します。平成28年度においては、目的積立金の取り崩しは行っておりません。

キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュフロー	1,193
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 14,900
人件費	▲ 15,710
その他の業務支出	▲ 496
運営費交付金収入	6,051
授業料収入	731
入学金収入	81
検定料収入	15
附属病院収入	23,614
受託研究等収入	319
受託事業等収入	92
補助金等収入	396
補助金等の精算による返還金の支出	▲ 2
寄附金収入	688
預り科学研究費補助金等増減	11
その他収入	303
設立団体納付金の支払額	0
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 642
有価証券の取得による支出	▲ 374
有価証券の償還による収入	374
有形固定資産の取得による支出	▲ 1,214
無形固定資産の取得による支出	▲ 14
定期の預入による支出	▲ 4,512
定期の払出による収入	4,512
施設費による収入	585
利息及び配当金の受領額	1
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 612
長期借入れによる収入	520
長期借入金返済による支出	▲ 520
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 605
利息の支払額	▲ 6
IV 資金に係る換算差額	0
V 資金増加額 (I + II + III + IV)	▲ 60
VI 資金期首残高	4,106
VII 資金期末残高 (V + VI)	4,046

【業務活動】

教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 12億円

【投資活動】

固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの

投資活動への資金利用 ▲6億円

【財務活動】

借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 ▲6億円

平成28年度キャッシュ減少額
6千万円

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

行政サービス実施コスト計算書～住民等が負担するコストを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務費用	6,619
(1) 損益計算書上の費用	32,545
業務費	31,945
一般管理費	474
財務費用	6
臨時損失	119
(2) (控除) 自己収入等	▲ 25,925
授業料収益・入学料収益・検定料収益	▲ 827
附属病院収益	▲ 23,943
受託研究等収益	▲ 316
受託事業等収益	▲ 56
寄附金収益	▲ 542
資産見返運営費交付金等戻入	0
資産見返寄附金戻入	▲ 67
財務収益	▲ 1
雑益	▲ 172
臨時利益	▲ 3
II 損益外減価償却相当額	1,232
III 損益外減損損失相当額	0
IV 損益外利息費用相当額	3
V 損益外除売却差額相当額	0
VI 引当外賞与増加見積額	49
VII 引当外退職給付増加見積額	757
VI 機会費用	26
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	6 ※1)
・地方公共団体出資の機会費用	21 ※2)
VII (控除) 設立団体納付金	0
VIII 行政サービス実施コスト	8,687

道からの財源で賄われているコスト

・損益計算書における費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの

(1) 損益計算書の費用：325億円

(2) (控除) 自己収入等：259億円

業務費用：66億円

損益計算書に計上されていないコスト：20億円

・道から出資された資産等の減価償却や、一部の退職手当等、制度上費用に反映されない負担相当額

免除もしくは軽減されているコスト：3千万円

・道、市町村等の資産利用に関して北海道公立大学法人ゆえに優遇された相当額

行政サービス実施コスト：87億円

※1) 道、市町村等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法：近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

※2) 地方公共団体出資の機会費用の計算に使用した利率：平成29年3月31日における10年国債の利回り0.065%を参考に計算しています。

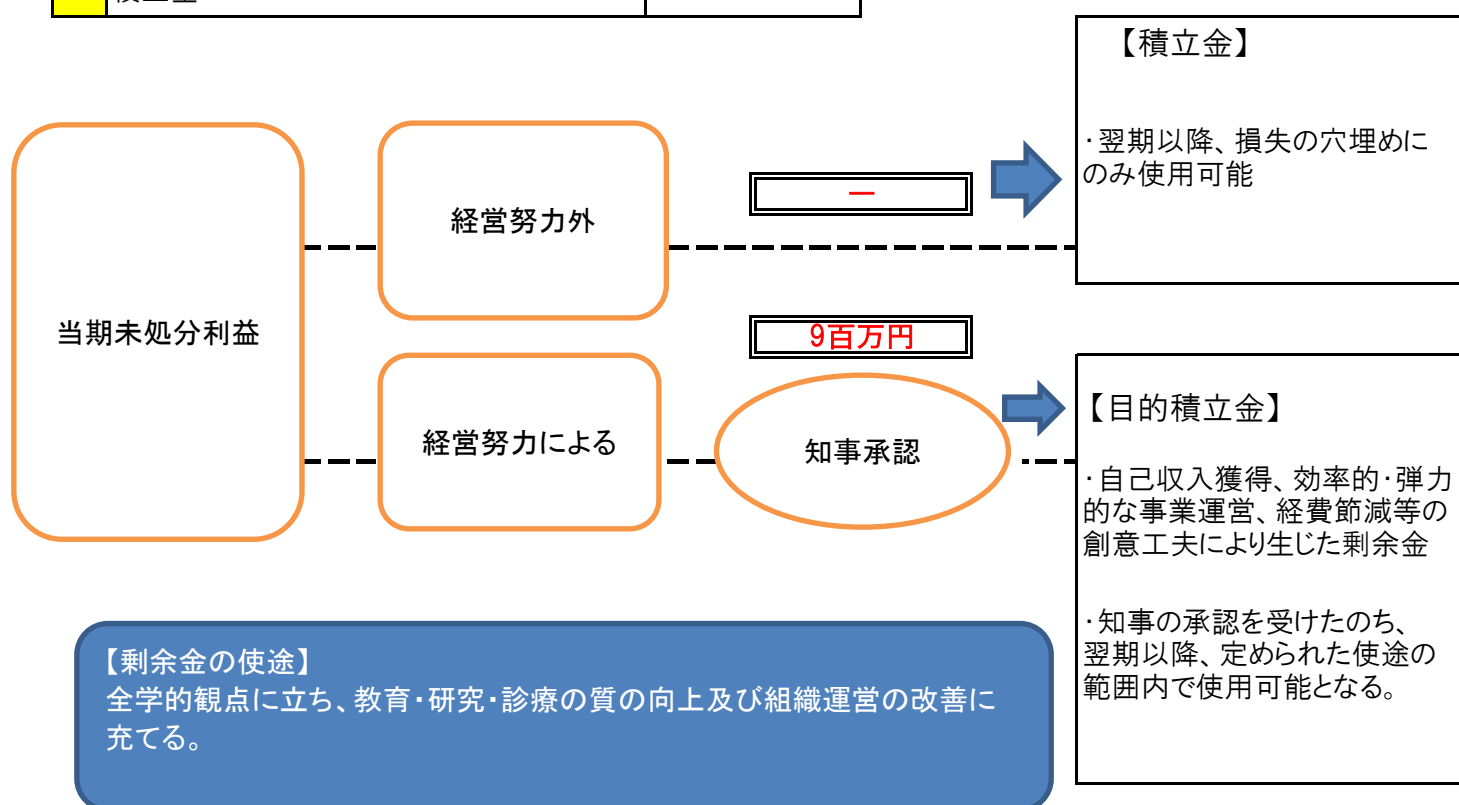
利益の処分に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 当期未処分利益	9
当期総利益	9

II 利益処分額	9
目的積立金	9
積立金	-



※ 公立大学法人には、株主のような営利目的の資本主が存在しませんので、利益を資本に配分することはありません。

そのため、獲得した利益のうち、運営努力(経営努力)から生じた利益については、北海道知事の承認を受けた後、次年度以降に中期計画の「剰余金の使途」に従って使用することが認められています。

決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
収入	34,188	35,454	1,266	
運営費交付金	6,513	6,513	0	
施設整備費補助金	588	581	▲ 7	※1)
自己収入	25,556	25,487	▲ 69	
授業料及び入学検定料収入	835	826	▲ 9	※2)
附属病院収入	24,055	23,943	▲ 112	※3)
雑収入	666	718	52	※4)
受託研究等収入及び寄附金収入等	1,011	2,353	1,342	※5)
長期借入金収入	520	520	0	
目的積立金取崩収入	0	0	0	
支出	34,188	33,083	▲ 1,105	
業務費	31,566	30,746	▲ 820	
教育研究経費	1,694	1,732	38	※6)
診療経費	13,473	13,342	▲ 131	※7)
人件費	15,838	15,215	▲ 623	※8)
一般管理費	561	457	▲ 104	※9)
施設整備費	1,108	1,101	▲ 7	※10)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	986	710	▲ 276	※11)
長期借入金償還金	528	526	▲ 2	
収入－支出	0	2,371	2,371	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 入札結果に基づく契約確定額の減により、予算額に比して決算額が7百万円減少しました。
- ※2) 休学者の増に伴う授業料の減等により、予算額に比して決算額が9百万円減少しました。
- ※3) 患者数の減少等により、予算額に比して決算額が112百万円減少しました。
- ※4) 文部科学省補助金（研究開発施設共用等促進費補助金）による収入増等により、予算額に比して決算額が52百万円増加しました。
- ※5) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことに加え、前年度からの繰越等988百万円があったことにより、予算額に比して決算額が1,342百万円増加しました。
- ※6) ※4) に示した理由により、予算額に比して決算額が38百万円増加しました。
- ※7) ※3) に示した理由により、予算額に比して決算額が131百万円減少しました。
- ※8) 教職員人件費や退職手当所要額の減により、予算額に比して決算額が623百万円減少しました。
- ※9) 各種経費の節減等により、予算額に比して決算額が104百万円減少しました。
- ※10) ※1) に示した理由により、予算額に比して決算額が7百万円減少しました。
- ※11) 寄附金事業費等の減により、予算額に比して決算額が276百万円減少しました。

○過去6年間の推移

財務情報一覧

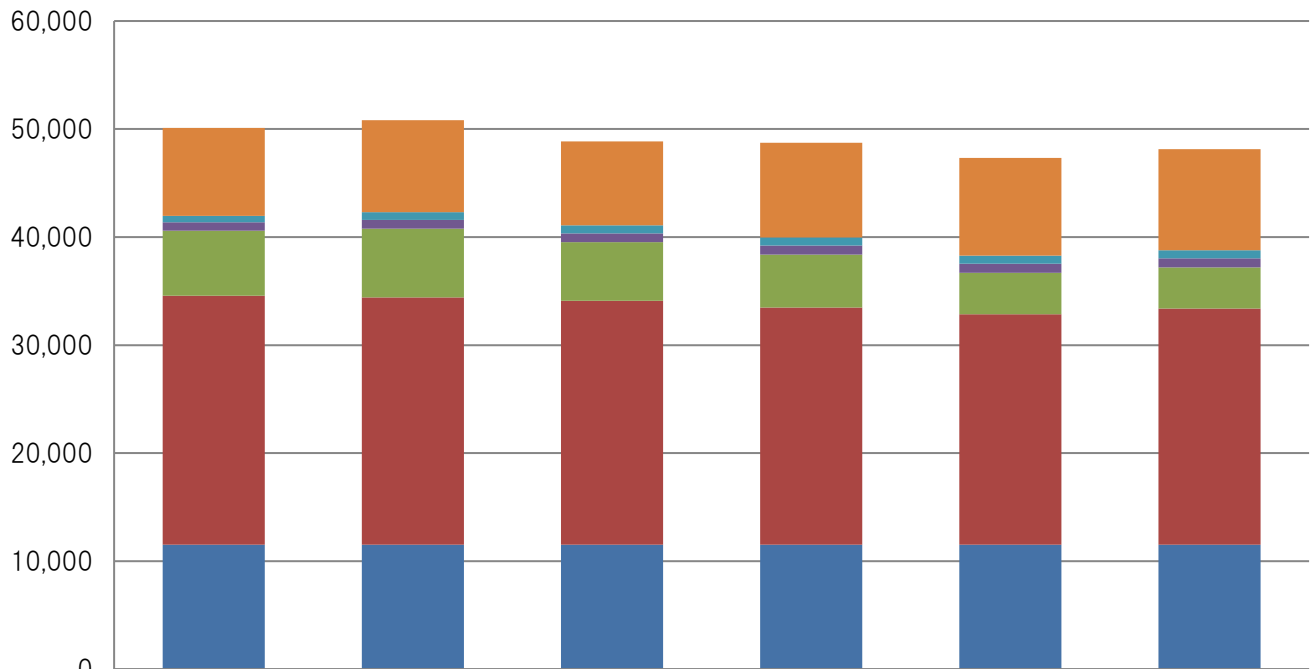
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	501	508	489	487	473	481	P10 ～ P11
		うち固定資産	420	423	411	400	382	388	
		負債	125	122	117	121	114	118	
		うち借入金	13	13	13	13	13	13	
		純資産	376	386	372	366	359	363	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	296	299	310	319	325	324	P12 ～ P13
		うち人件費	145	145	147	150	154	152	
		経常収益	303	308	311	320	326	326	
		うち運営費交付金	61	60	56	59	61	59	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	9	17	2	1	1	0	P14
		目的積立金	6	-	2	1	1	0	
		積立金	2	17	-	-	-	0	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	215	218	228	236	240	243	P15
		業務収益	220	225	230	236	240	243	
		業務利益	5	7	1	0	0	0	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	24	14	20	20	24	12	P16
		投資活動	▲16	▲8	▲22	▲3	▲13	▲6	
		財務活動	▲6	▲7	▲7	▲7	▲7	▲6	
		資金期末残高	38	36	27	37	41	40	
業務実施 コスト	本学への 住民負担	実施コスト	82	78	84	86	85	87	P17

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

資産

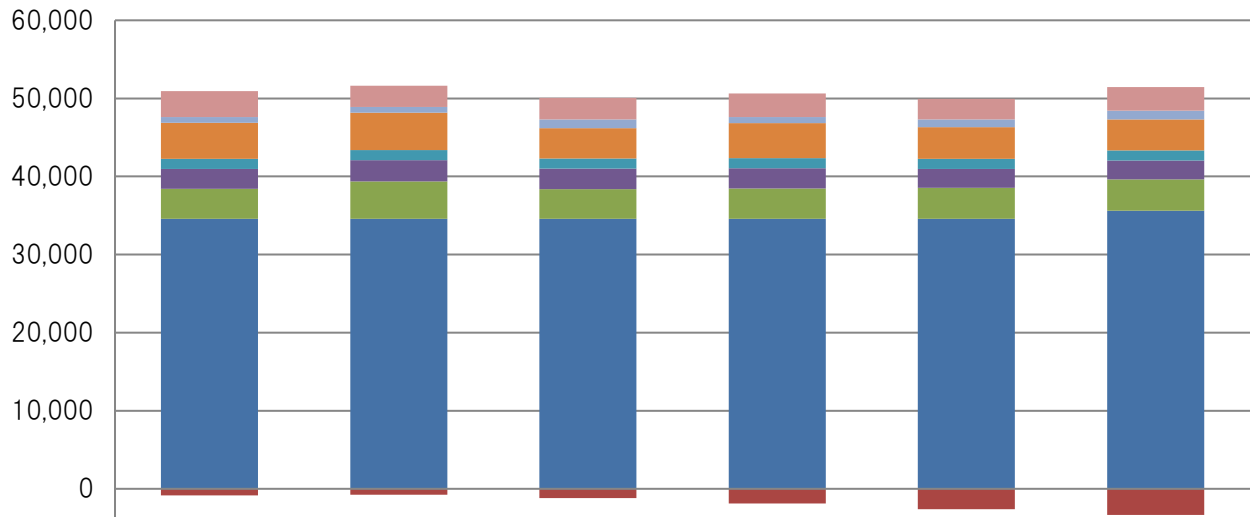


■ 流動資産	8,137	8,532	7,758	8,763	9,060	9,343
■ その他	582	705	741	744	749	753
■ 図書	799	814	825	834	839	843
■ 設備	6,006	6,350	5,413	4,901	3,830	3,818
■ 建物	23,037	22,879	22,572	21,930	21,310	21,839
■ 土地	11,544	11,544	11,544	11,544	11,544	11,535

(単位：百万円)

区分	28年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	19.4%	・ 現預金、有価証券（1年以内） ・ 未収附属病院収入 ・ 未収学生納付金収入 ・ 病院医薬品在庫	283	・ 現預金減▲60 ・ 病院収入増に伴う未収増334 ・ 病院医薬品在庫増3 ・ 未収入金増6
固定資産	図書等	その他	・ 特許権 ・ 長期貸付金 ・ 未収財源措置予定額	4	・ 長期貸付金増8 ・ 未収財源措置予定額▲4
		図書	・ 書籍 ・ CD-ROM ・ 雑誌（製本済みのもの）	4	・ 当期取得7 ・ 当期除籍▲3 ・ 蔵書数28年度末 215,116冊
	設備建物	設備	・ 実験、診療器具 ・ 車両運搬具	▲12	・ 当期取得1,392 【減価償却負担▲1,404】
		建物	・ 校舎、研究所 ・ 病院 ・ 宿舎、学生寮 ・ ファミリーハウス	529	・ 当期取得1,662 【減価償却負担▲1,133】 ・ 施設の改修工事
	土地	土地	・ 上記の敷地 ・ グラウンド	▲8	・ 研究所の用途廃止による減▲8

負債・純資産



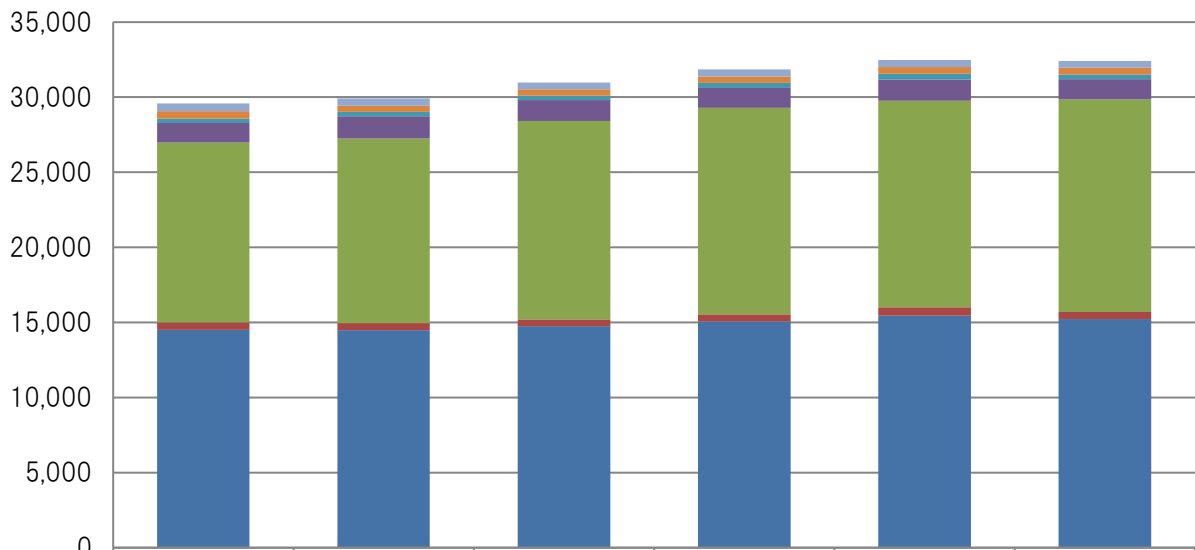
▲ 10,000

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
■ その他債務	3,302	2,691	2,756	2,999	2,629	3,032
■ 寄附金債務	733	746	1,124	776	998	1,107
■ 未払金	4,636	4,795	3,876	4,506	4,042	3,979
■ 借入金	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
■ 資産見返負債	2,539	2,718	2,618	2,563	2,409	2,426
■ 利益剰余金	3,833	4,768	3,802	3,884	3,974	3,982
■ 資本剰余金	▲ 822	▲ 777	▲ 1,209	▲ 1,897	▲ 2,605	▲ 3,330
■ 資本金	34,585	34,585	34,585	34,585	34,585	35,635

(単位：百万円)

区分	28年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他債務	6.3%	・繰越して使用予定の交付金 ・繰越して使用予定の受託研究費 ・預り科学研究費補助金等	403	・リース債務増288 ・運営費交付金債務増63 ・受託等債務増41
	寄附金債務	2.3%	・繰越して使用予定の寄附金	109	・寄附金債務増109
	未払金	8.3%	・平成29年4月支払の経費	▲ 63	・4月支払の人件費（退職手当）の減少
	借入金	2.7%	・大学病院の借入金残高（機器整備）	0	・昨年度と同
	資産見返負債	5.0%	・建築設備取得に使用した交付金、授業料、寄附金の減価償却費を除いた残高	16	・道からの承継資産償却額46 ・補助金財源償却額▲92 ・交付金財源の購入に伴う増64
純資産	利益剰余金	8.3%	・目的積立金（28年度末分） ・繰越積立金（第1期分） ・未処分利益（当期総利益）	9	・当期総利益▲81 ・目的積立金89
	資本剰余金	-6.9%	・施設費や目的積立金による固定資産の取得額 ・当期の損益外減価償却累計額	▲ 725	・施設整備補助金財源取得508 ・当期損益外減価償却等▲1,230
	資本金	74.0%	・法人移行時に道から土地・建物等の現物で受けた出資金	1,050	・北海道からの出資による増1,060 ・北海道への返納による減▲10

経常費用

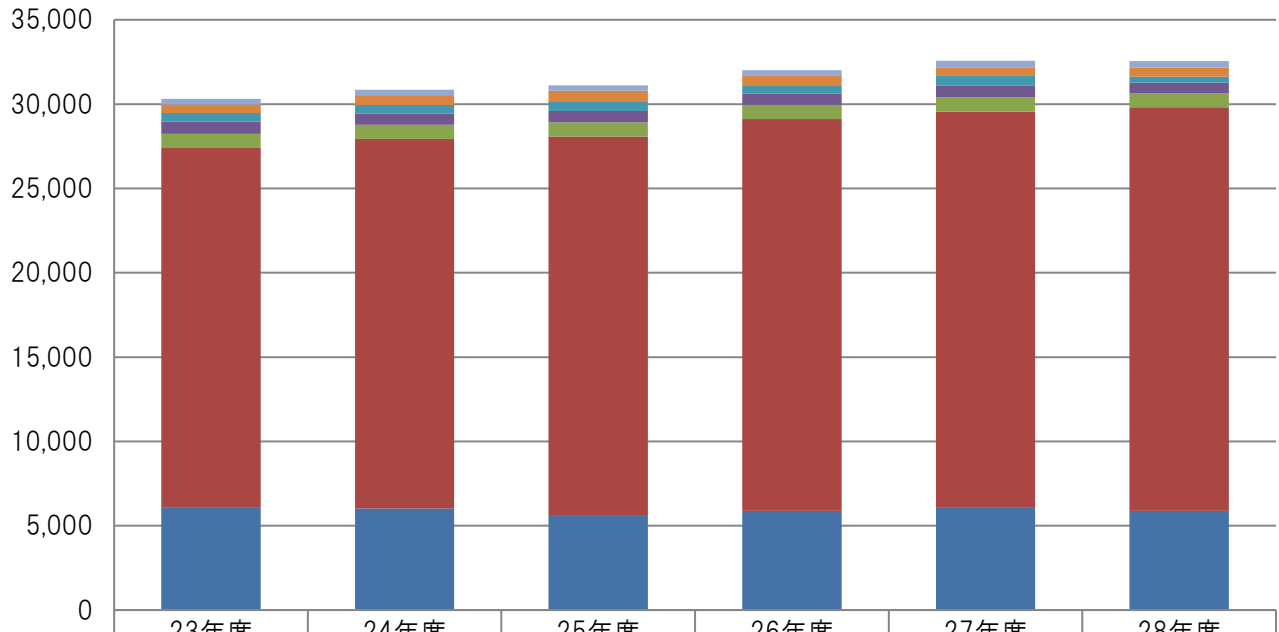


	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
■教育経費	520	488	463	477	461	464
■教育研究支援経費	485	417	412	431	459	430
■受託研究費等	305	284	296	316	375	326
■研究経費	1,300	1,483	1,398	1,333	1,421	1,334
■診療経費	11,973	12,306	13,204	13,751	13,735	14,175
■一般管理費等	499	471	461	464	577	474
■人件費	14,501	14,476	14,747	15,079	15,445	15,215

(単位: 百万円)

区分	28年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	1.4%	・ 学生に対し行われる教育に要する経費	3	・ 庁舎設備保守点検費の増
	教育研究支援経費	1.3%	・ 附属総合情報センター(図書館含む)に要する経費	▲ 29	・ 図書整備費の減
研究	受託研究等	1.0%	・ 外部から委託を受けて行う受託研究 ・ 民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	▲ 49	・ 受託研究に係る費用減
	研究経費	4.1%	・ 研究に要する経費	▲ 87	・ 補助金財源の費用減
診療	診療経費	43.7%	・ 大学病院における診療の実施に要する経費	439	・ 医薬材料費の増 ・ 光熱費の減
管理運営	一般管理費等	1.5%	・ 管理運営に要する経費 ・ 財務費用	▲ 103	・ 修繕費の減 ・ 光熱費の減
	人件費	46.9%	・ 一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等(受託に係る人件費は含まない)	▲ 230	・ 給与改定等に伴う増 ・ 退職手当の減

経常収益



	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
■ 受託等	333	304	322	346	421	371
■ 寄附金	513	584	624	591	479	542
■ 補助金	511	515	569	473	560	367
■ その他	717	671	679	646	725	626
■ 学生納付金	846	838	840	834	835	827
■ 病院収益	21,285	21,903	22,493	23,251	23,502	23,943
■ 交付金	6,110	6,031	5,591	5,873	6,054	5,875

(単位: 百万円)

区分	28年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	1.1%	・ 受託研究 ・ 受託事業 ・ 共同研究	▲ 49	・ 受託研究等の収益化額の減
	寄附金	1.7%	・ 奨学寄附金 ・ 寄附講座	63	・ 寄附講座等の収益化額の増
	補助金	1.1%	・ 大学改革推進費 (GP) ・ 研究開発施設共用等促進費	▲ 194	・ 特設講座終了に伴う収益化額の減
その他	その他	1.9%	・ 研究関連収入 (間接経費) ・ 財産貸付料収入 ・ 資産見返負債戻入 ・ 受取利息	▲ 98	・ 施設費収益の減 ・ その他の雑益の減 ・ 資産見返負債戻入の減
学納金	学生納付金	2.5%	・ 授業料 ・ 入学料 ・ 検定料	▲ 8	・ 大学院生の減 ・ 入学料・検定料の増
診療	病院収益	73.6%	・ 附属病院収入 (外来・入院)	441	・ 入院診療収益増131 ・ 外来診療収益増301
交付金	運営費交付金	18.0%	・ 運営費交付金収入	▲ 180	・ 退職手当の減に伴う収益化額の減

利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
経常収益	30,316	30,846	31,118	32,014	32,575	32,551
経常費用	29,583	29,926	30,993	31,860	32,481	32,426
経常利益	732	920	126	154	94	125
臨時損益	▲ 2	618	1	▲ 3	▲ 5	▲ 116
目的積立金取崩	125	159	81	2	0	0
当期総利益	856	1,697	208	153	89	9

当期総利益の内訳

(単位：百万円)

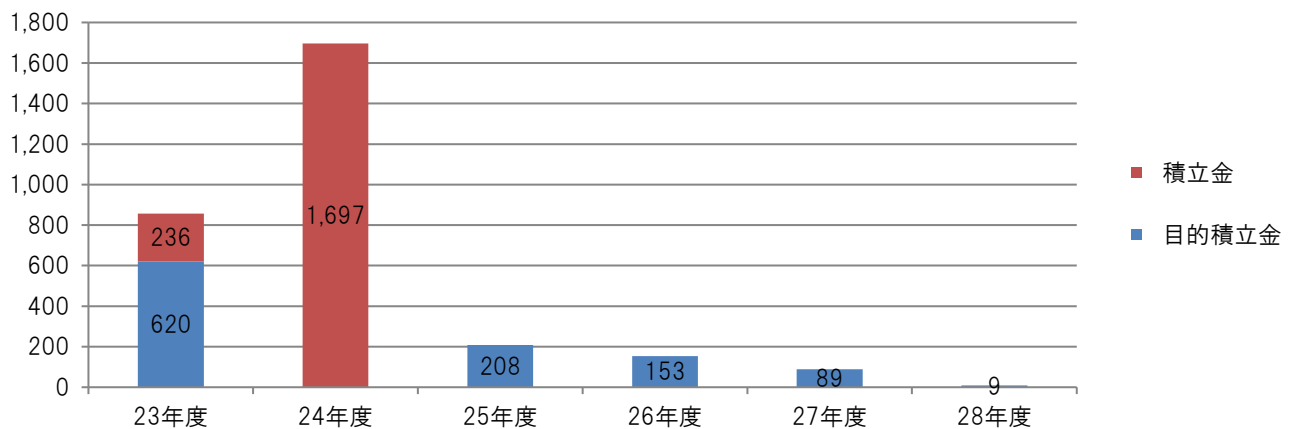
区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
目的積立金	620	-	208	153	89	9
積立金	236	1697	-	-	-	-

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。

当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

なお、平成24年度は中期目標期間最終年度のため会計基準に基づき、全額を積立金として整理し、平成25年度以降は全額を目的積立金として承認されています。

利益処分の推移



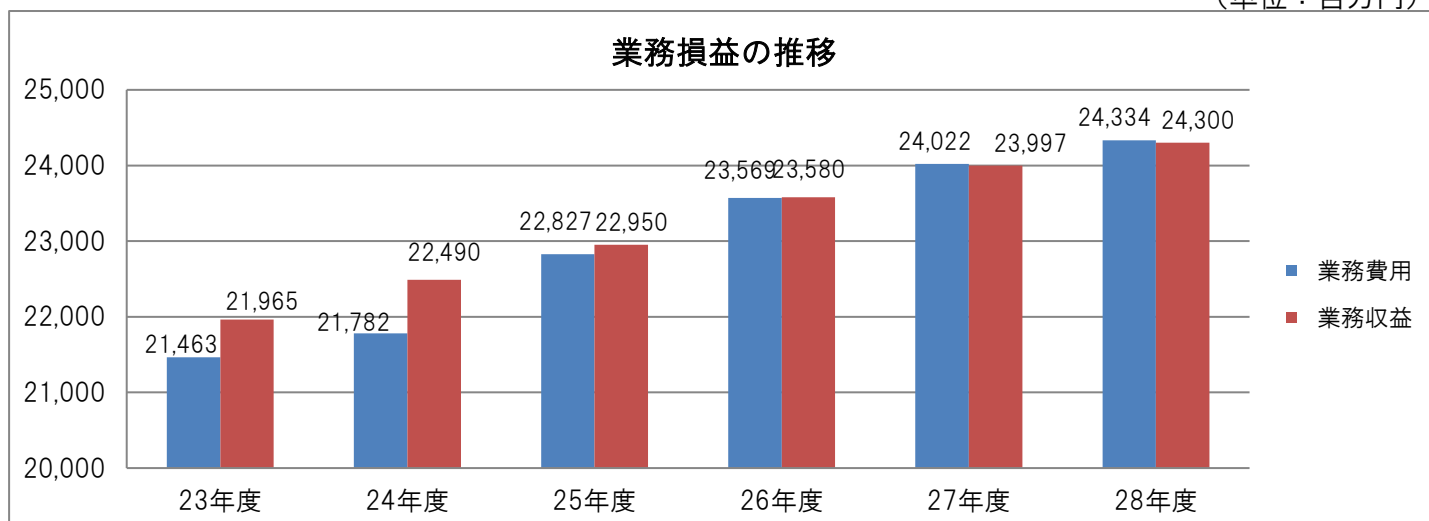
28年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 9百万円	目的積立金 9百万円	(主な発生要因) ・ 附属病院診療収入の増加に伴う収益の増 ・ 人件費の節減 ・ 外部資金の獲得による財源の振り替え ・ 各種経費の節減
	積立金 —	—

附属病院業務損益の推移

(単位：百万円)

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
業務費用	21,463	21,782	22,827	23,569	24,022	24,334
業務収益	21,965	22,490	22,950	23,580	23,997	24,300
業務損益	502	708	123	11	▲ 25	▲ 34

(単位：百万円)



【業務費用】

(単位：百万円)

28年度		業務費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	76 0.3%	・教育経費、研究経費、 受託研究費、受託事業費 ・財務費用	▲ 6	・受託費用の減 ・支払利息の減
人件費	10,083 41.4%	・臨床系教員 ・医員、研修医 ・看護師、技師、事務職員	▲ 121	・看護師等人員増に伴う増 ・日々雇用職員等人員増に伴う増 ・退職手当の減
診療経費	14,175 58.3%	・診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	439	・委託経費の減 ・医薬材料費の増

【業務収益】

(単位：百万円)

28年度		業務収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	329 1.4%	・受託研究、寄附金等の 外部資金収益 ・資産見返負債戻入等	1	・補助金収益の減 ・受託収益の減 ・施設費収益の増
病院運営 費交付金 収益	28 0.1%	・附属病院に係る交付金	▲ 140	・人件費精算に伴う収益の減
病院収益	23,943 98.5%	・外来収益 ・入院収益 ・文書料	441	・入院診療収益増131 (入院患者数：280,830人) ・外来診療収益増302 (外来患者数：421,742人)

キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外） の取引に係る収入と支出の差額	2,371	1,366	1,965	2,005	2,415	1,193
	（収入）運営費交付金、附属病院収入、 授業料、受託研究等、寄附金	30,130	30,973	31,641	31,892	32,312	32,300
	（支出）人件費支出、原材料・商品・ サービス購入による支出	▲ 27,759	▲ 29,607	▲ 29,676	▲ 29,887	▲ 29,897	▲ 31,106
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入 と支出の差額	▲ 1,567	▲ 796	▲ 2,166	▲ 329	▲ 1,281	▲ 642
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 1,569	▲ 604	▲ 2,164	▲ 380	▲ 1,432	▲ 643
	（収入）施設費による収入、資産売却に よる収入	529	467	519	547	572	585
	（支出）建物・設備の取得、除却	▲ 2,098	▲ 1,071	▲ 2,683	▲ 927	▲ 2,004	▲ 1,227
	投資資産の取得及び売却の取引	2	▲ 193	▲ 2	51	151	1
	（収入）定期預金の払戻、有価証券の償還	2	1,998	2,094	3,001	3,291	4,887
	（支出）定期預金・有価証券の取得	0	▲ 2,191	▲ 2,096	▲ 2,950	▲ 3,140	▲ 4,886
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と 支出の差額	▲ 600	▲ 725	▲ 705	▲ 737	▲ 680	▲ 612
	（収入）長期借入による収入	520	520	520	520	520	520
	（支出）借入金の返済、利息の支払、 ファイナンスリース債務の返済	▲ 1,120	▲ 1,245	▲ 1,225	▲ 1,257	▲ 1,200	▲ 1,132
④資金 増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元 現金・当座預金・普通預金）増減額	204	▲ 155	▲ 906	939	454	▲ 60
⑤資金 期首残高	前期末現預金残高	3,570	3,774	3,619	2,713	3,652	4,106
⑥資金 期末残高	当期末現預金残高	3,774	3,619	2,713	3,652	4,106	4,046

(単位：百万円)



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

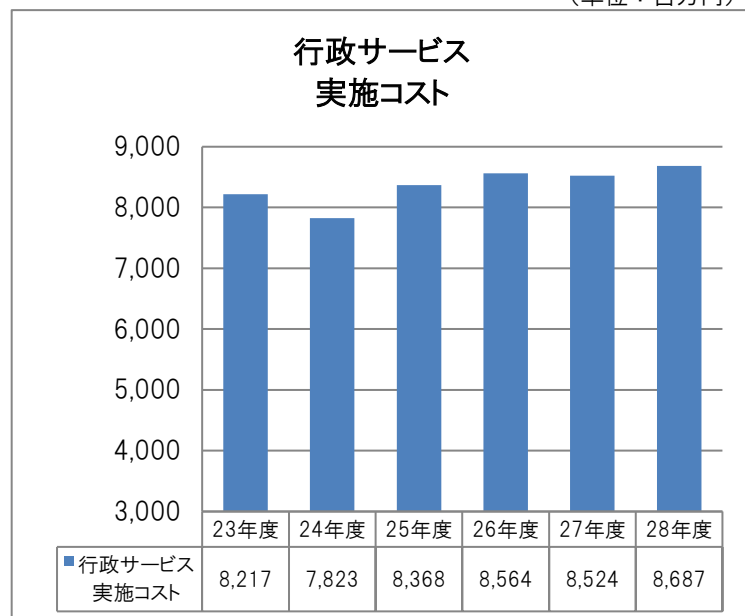
○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

業務実施コストの推移

(単位：百万円)

	表示区分	説明	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
機会費用	国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	国や地方公共団体から市場価格よりも廉価で賃借している土地等（職員宿舎、課外活動敷地など）について、市場価格で賃借したならば得られなかった金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	16	16	14	112	202	6
	地方公共団体出資の機会費用等	出資金、地方公共団体から拠出された資本剰余金等について、その金額を市場で運用したならば得られなかった金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	332	186	210	129	-	21
損益外減価償却等	・損益外減価償却相当額 ・損益外減損損失相当額等	施設費等で取得した建物に係る減価償却費等は、損益計算書に費用として反映させていないが、最終的には住民等の負担となるため、業務運営費用と認識する。	994	1,038	1,150	1,324	1,207	1,235
	・引当外賞与増加見積額 ・引当外退職給付増加見積額	運営費交付金を財源とする教職員に係る賞与と退職金は、損益計算書に費用（引当金）として反映させないが、最終的には住民等の負担となるため業務運営費用と認識する。	485	504	508	359	144	806
業務費用	損益計算書上の費用	経常費用と臨時損失の合計	29,585	29,928	31,000	31,863	32,486	32,545
	(控除)自己収入等	自己収入（授業料、病院収益等） ※住民等の負担ではないので控除する。	▲ 23,196	▲ 23,849	▲ 24,513	▲ 25,223	▲ 25,515	▲ 25,925
行政サービス実施コスト			8,217	7,823	8,368	8,564	8,524	8,687

(単位：百万円)



○公立大学法人は、その業務を行うために、納税者である住民等から、財産（税金・土地・建物等）を負託されています。

○このため、「行政サービス実施コスト計算書」を作成して、最終的に住民等の負担となるコストを示しています。民間企業にはない財務諸表です。

○通常、コスト情報としては損益計算書中の費用の部が挙げられますが、そこから法人の自己収入分を減じたものに、制度上費用に含まれない退職給付引当金の負担増加額や、国・地方公共団体が政策的に免除している経費を加えることにより、大学の運営に要したコスト負担額をより明らかにするものです。

○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	増減（前年比較）	評価	
流動比率 【貸借対照表】	$流動資産 \div 流動負債$	122.8 %	131.8 %	120.0 %	125.5 %	137.4 %	138.5 %	1.0 %	高い値が良い	↑
	流動資産	8,137 百万円	8,532 百万円	7,758 百万円	8,763 百万円	9,060 百万円	9,343 百万円	283 百万円		
	流動負債	6,627 百万円	6,471 百万円	6,465 百万円	6,984 百万円	6,592 百万円	6,747 百万円	155 百万円		
自己資本比率 【貸借対照表】	$資本（純資産） \div （負債 + 資本（純資産））$	75.0 %	75.9 %	76.1 %	75.1 %	76.0 %	75.4 %	▲ 0.6 %	高い値が良い	↑
	資本（純資産）	37,597 百万円	38,575 百万円	37,179 百万円	36,572 百万円	35,954 百万円	36,288 百万円	334 百万円		
	負債	12,509 百万円	12,249 百万円	11,673 百万円	12,144 百万円	11,378 百万円	11,844 百万円	466 百万円		
	負債 + 資本（純資産）	50,105 百万円	50,825 百万円	48,852 百万円	48,716 百万円	47,332 百万円	48,131 百万円	799 百万円		
経常利益比率 【損益計算書】	$経常利益 \div 経常収益$	2.4 %	3.0 %	0.4 %	0.5 %	0.3 %	0.4 %	0.1 %	高い値が良い	↓
	経常利益	733 百万円	920 百万円	126 百万円	154 百万円	94 百万円	125 百万円	31 百万円		
	経常収益	30,316 百万円	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	▲ 24 百万円		
人件費対 業務費 【損益計算書】	$人件費 \div 業務費$	49.9 %	49.1 %	48.3 %	48.0 %	48.4 %	47.6 %	▲ 0.8 %	低い値が良い	↓
	人件費	14,501 百万円	14,476 百万円	14,747 百万円	15,079 百万円	15,445 百万円	15,215 百万円	▲ 230 百万円		
	業務費	29,084 百万円	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	48 百万円		
一般管理費対 業務費 【損益計算書】	$一般管理費 \div 業務費$	1.7 %	1.6 %	1.5 %	1.5 %	1.8 %	1.5 %	▲ 0.3 %	低い値が良い	↓
	一般管理費	484 百万円	457 百万円	461 百万円	464 百万円	577 百万円	474 百万円	▲ 103 百万円		
	業務費	29,084 百万円	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	48 百万円		
外部資金比率 【損益計算書】	$(受託研究等収益 + 受託事業等収益 + 寄附金収益) \div 経常収益$	2.8 %	2.9 %	3.0 %	2.9 %	2.8 %	2.8 %	0.0 %	高い値が良い	↓
	①受託研究収益 + 受託事業収益	333 百万円	304 百万円	322 百万円	346 百万円	420 百万円	371 百万円	▲ 49 百万円		
	②寄附金収益	513 百万円	584 百万円	624 百万円	591 百万円	479 百万円	542 百万円	63 百万円		
	経常収益	30,316 百万円	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	▲ 24 百万円		
外部資金比率 (科学研究費 補助金を含む) 【損益計算書】 【附属明細書】	$(受託研究等収益 + 受託事業等収益 + 寄附金収益 + 科学研究費補助金) \div 経常収益$	4.6 %	4.7 %	4.8 %	4.8 %	3.8 %	3.9 %	0.1 %	高い値が良い	↓
	上記 ①+②	846 百万円	888 百万円	946 百万円	937 百万円	899 百万円	913 百万円	14 百万円		
	科学研究費補助金	549 百万円	554 百万円	554 百万円	596 百万円	342 百万円	346 百万円	4 百万円		
	経常収益	30,316 百万円	30,846 百万円	31,118 百万円	32,014 百万円	32,575 百万円	32,551 百万円	▲ 24 百万円		
診療経費比率 【損益計算書】	$診療経費 \div 附属病院収益$	56.3 %	56.2 %	58.7 %	59.1 %	58.4 %	59.2 %	0.8 %	低い値が良い	↑
	診療経費	11,973 百万円	12,306 百万円	13,204 百万円	13,751 百万円	13,735 百万円	14,175 百万円	440 百万円		
	附属病院収益	21,285 百万円	21,903 百万円	22,493 百万円	23,251 百万円	23,502 百万円	23,943 百万円	441 百万円		
1 病床あたりの 附属病院収益 【損益計算書】	$附属病院収益 \div 病床数$	22.7 百万円	23.4 百万円	24.0 百万円	24.8 百万円	25.1 百万円	25.5 百万円	0.5 百万円	高い値が良い	↑
	附属病院収益	21,285 百万円	21,903 百万円	22,493 百万円	23,251 百万円	23,502 百万円	23,943 百万円	441 百万円		
	病床数	938 床	938 床	938 床	938 床	938 床	938 床	0 床		
学生 1 人あたりの 教育経費 【損益計算書】 【事業報告書】	$教育経費 \div 学生数$	402 千円	370 千円	349 千円	354 千円	341 千円	347 千円	6 千円	高い値が良い	↓
	教育経費	520 百万円	488 百万円	463 百万円	477 百万円	461 百万円	464 百万円	3 百万円		
	学生数	1,293 人	1,320 人	1,328 人	1,347 人	1,352 人	1,336 人	▲ 16 人		
教員 1 人あたりの 研究費 【損益計算書】 【事業報告書】	$研究経費 \div 教員数$	3,448 千円	3,862 千円	3,641 千円	3,409 千円	3,672 千円	3,483 千円	▲ 189 千円	高い値が良い	↑
	研究経費	1,300 百万円	1,483 百万円	1,398 百万円	1,333 百万円	1,421 百万円	1,334 百万円	▲ 87 百万円		
	教員数	377 人	384 人	384 人	391 人	387 人	383 人	▲ 4 人		
教育経費対 業務費比率 【損益計算書】	$教育経費 \div 業務費$	1.8 %	1.7 %	1.5 %	1.5 %	1.4 %	1.5 %	0.0 %	高い値が良い	↓
	教育経費	520 百万円	488 百万円	463 百万円	477 百万円	461 百万円	464 百万円	3 百万円		
	業務費	29,084 百万円	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	48 百万円		
研究経費対 業務費比率 【損益計算書】	$研究経費 \div 業務費$	4.5 %	5.0 %	4.6 %	4.2 %	4.5 %	4.2 %	▲ 0.3 %	高い値が良い	↑
	研究経費	1,300 百万円	1,483 百万円	1,398 百万円	1,333 百万円	1,421 百万円	1,334 百万円	▲ 87 百万円		
	業務費	29,084 百万円	29,455 百万円	30,521 百万円	31,387 百万円	31,897 百万円	31,945 百万円	48 百万円		

(※) 財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

資料編

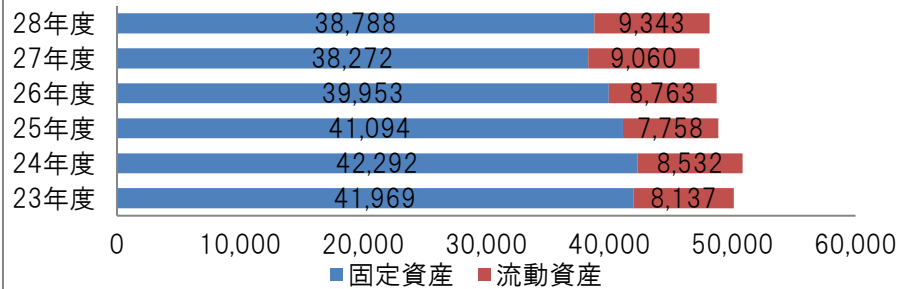
○貸借対照表

資産の部

48,131 百万円

対前年度

799 百万円



資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。

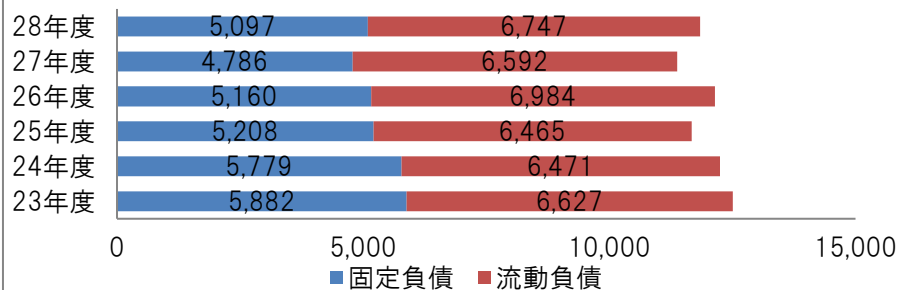
毎年度、計画的な施設整備・維持・充実を図っており、平成28年度は、教育・研究・診療の機械備品等の新規購入や更新を行ったほか、新棟が北海道から出資されたことにより、資産が増加しています。

負債の部

11,844 百万円

対前年度

466 百万円



負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（資産見返負債等）に分類できます。

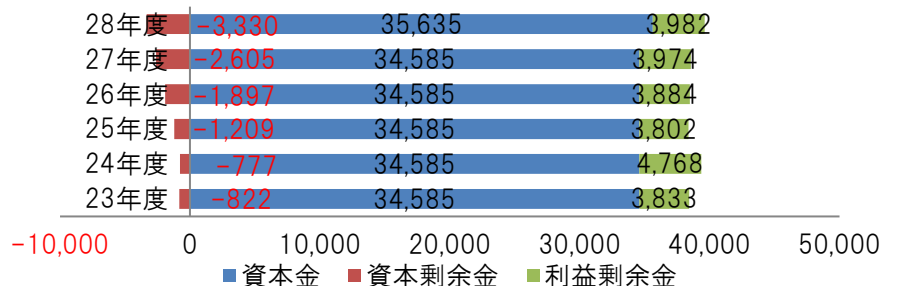
平成28年度は、新規で契約したりース資産や今年度に獲得した寄附金や受託研究等の未執行分が増加しています。

純資産の部

36,288 百万円

対前年度

333 百万円



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。

平成28年度は、新棟が北海道から出資され、資本金が増加した一方で、損益外減価償却費等の増により資本剰余金が減少しています。

資 産

土地	11,535 百万円	対前年度	▲ 8 百万円
建物等	21,839 百万円	対前年度	529 百万円
建設仮勘定	18 百万円	対前年度	15 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホールなどの施設を有しています。平成28年度は、長期保全計画に基づく施設の整備・維持・充実に努めた一方で、減価償却費の負担が発生している状況となっています。

工具器具備品	3,818 百万円	対前年度	▲ 12 百万円
図書	843 百万円	対前年度	4 百万円

工具器具備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得など、適切に設備等を更新している一方で、購入を上回る減価償却費の負担が発生している状況となっています。

図書については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	4,046 百万円	対前年度	▲ 60 百万円
-------	-----------	------	----------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。

未収入金	4,903 百万円	対前年度	339 百万円
未収学生納付金収入	0 百万円	対前年度	0 百万円
未収附属病院収入	4,820 百万円	対前年度	334 百万円
その他未収金	83 百万円	対前年度	6 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収金など）からなります。

平成28年度末においては、附属病院収益が増加したことにより、未収附属病院収入が334百万円増加しています。

負 債

資産見返負債	2,426 百万円	対前年度	16 百万円
--------	-----------	------	--------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。

借入金（固定負債）	1,300 百万円	対前年度	0 百万円
借入金（流動負債）	520 百万円	対前年度	0 百万円

道からの借入金は附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度520百万円の借入れを行っています（1年据え置きの4年間での償還）。
なお、1年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	560 百万円	対前年度	63 百万円
----------	---------	------	--------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用については、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められています。

寄附金債務	1,107 百万円	対前年度	109 百万円
-------	-----------	------	---------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	3,979 百万円	対前年度	▲ 63 百万円
-----	-----------	------	----------

ほとんどが年度末の各種請求に対する支払債務であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。

純 資 産

資本金	35,635 百万円	対前年度	1,050 百万円
-----	------------	------	-----------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。

資本剰余金	▲ 3,330 百万円	対前年度	▲ 725 百万円
-------	-------------	------	-----------

非償却資産の取得、施設費や目的積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	3,982 百万円	対前年度	9 百万円
-------	-----------	------	-------

業務に関連して発生した剰余金を示します。平成28年度は当期の未処分利益9百万円獲得しています。

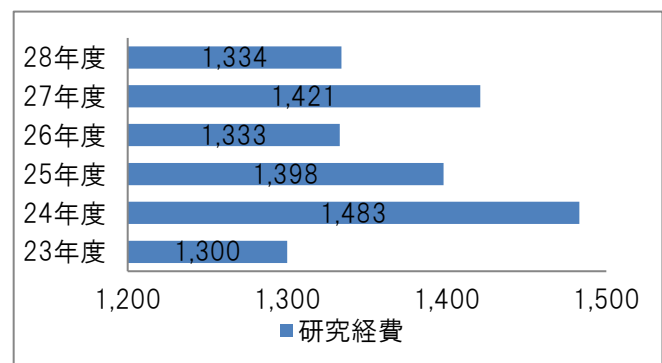
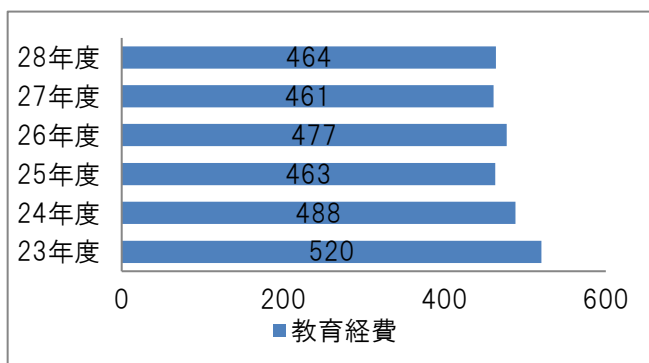
○損益計算書

経常費用

教育経費	研究経費
464 百万円 対前年度 3百万円	1,334 百万円 対前年度 ▲87百万円

・入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学金（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれています。

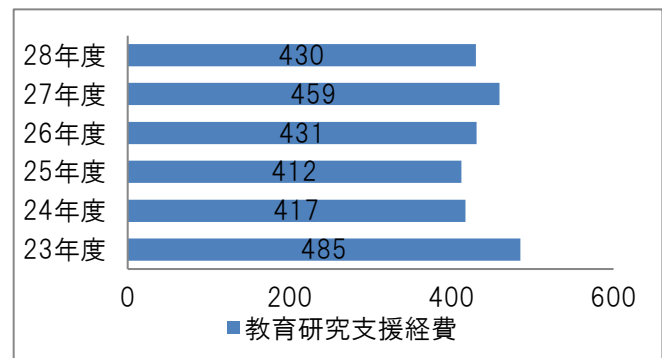
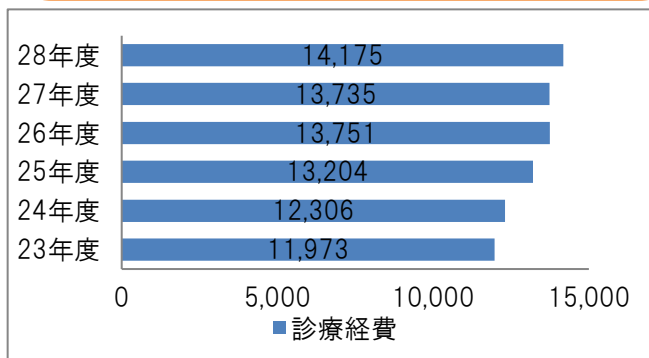
・各学部や研究所等における研究に要する経費です。
・平成28年度は、補助金事業が減少したことに伴い、経費が減少しています。



診療経費	教育研究支援経費
14,175 百万円 対前年度 439百万円	430 百万円 対前年度 ▲29百万円

・附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。診療活動の活発化による収益増に伴い、経費が増加する傾向があります。

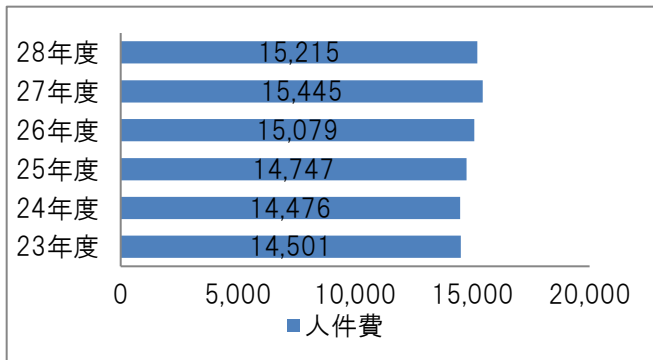
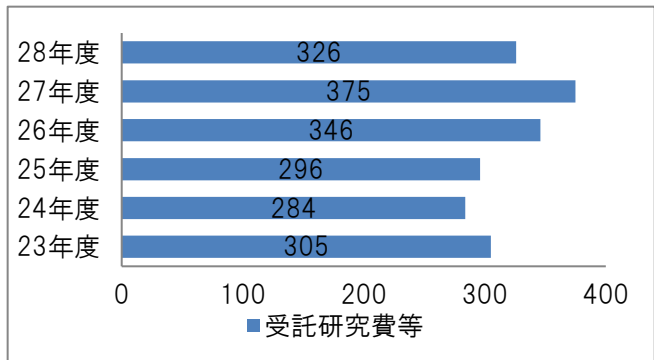
・附属総合情報センター等の大学全体の教育・研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書の取得については、資産の部の図書に含まれています。



受託研究費等	人件費
326 百万円 対前年度 ▲ 49百万円	15,215 百万円 対前年度 ▲ 230百万円

・ 受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。

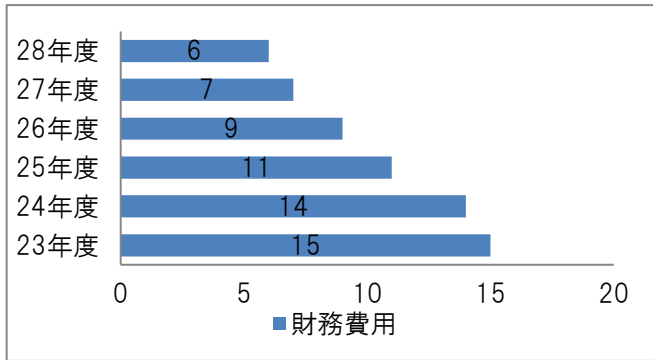
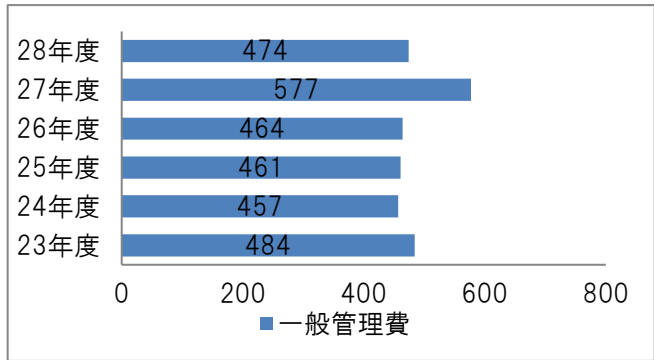
・ 役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。
 ・ 平成28年度は、給与改定等により増加したものの、退職手当が大幅に減少したことにより、前年度に比べ減少しています。



一般管理費	財務費用
474 百万円 対前年度 ▲ 103百万円	6 百万円 対前年度 ▲ 1百万円

・ 大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。
 ・ 平成28年度は、前年度に実施したPCB廃棄物の処理が終了したことや、施設修繕費用が減少したことにより、大幅に減少しています。

・ 道からの借入金に係る利息の支払いです。
 ・ 平均利率下落(0.49%→0.36%)により減少しています。

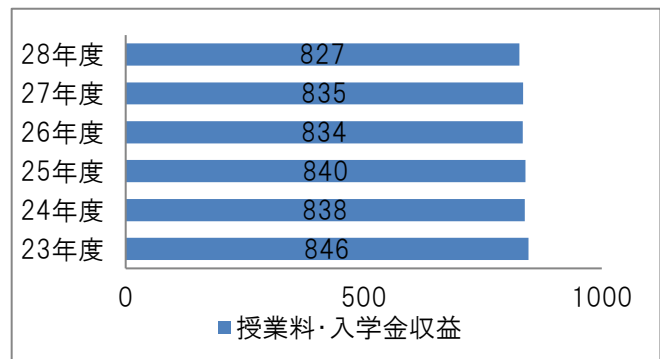
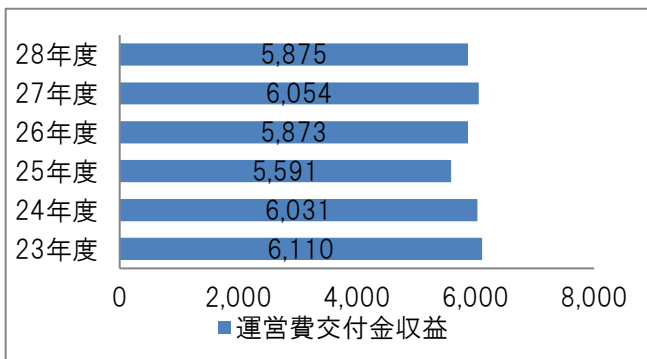


経常収益

運営費交付金収益	授業料・入学金収益
5,875 百万円 対前年度 ▲180百万円	827 百万円 対前年度 ▲8百万円

- ・ 大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。効率化係数などの影響により、毎年減少傾向にあります。
- ・ 平成28年度は、給与改定等に伴い交付額が増えましたが、退職金等の執行額が減少し、収益が減少しています。

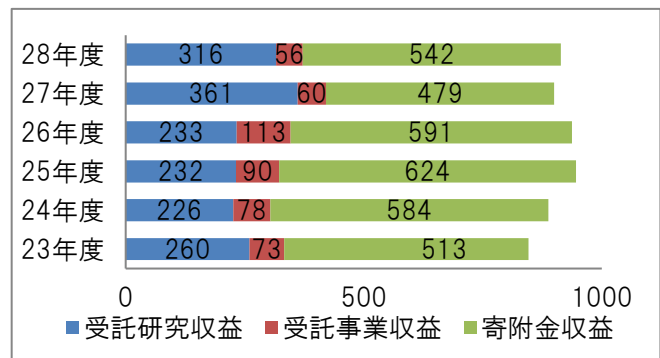
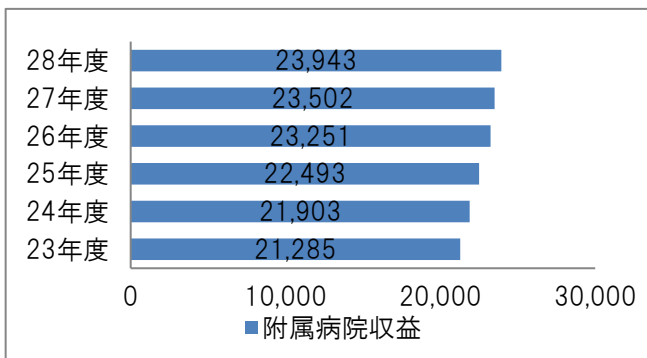
- ・ 授業料や入学金、検定料などの学生納付金による収益です。
- ・ 平成28年度は、入学金及び検定料が増加した一方、大学院生が減少し収益が減少しています。



附属病院収益	受託研究・寄附金収益
23,943 百万円 対前年度 441百万円	913 百万円 対前年度 14百万円

- ・ 病院における診療による収益です。
- ・ 平成28年度は、前年と比較して患者単価が大幅に上昇したことに伴い、診療収益が増加しています。

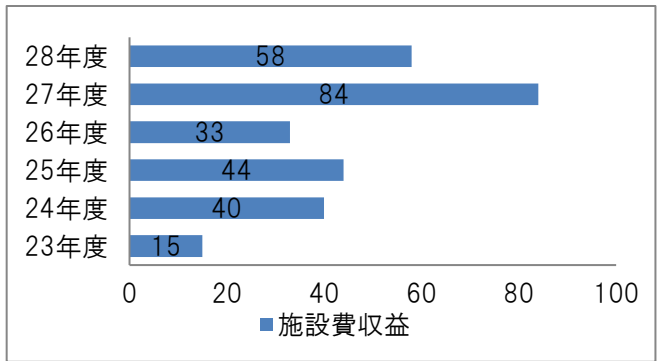
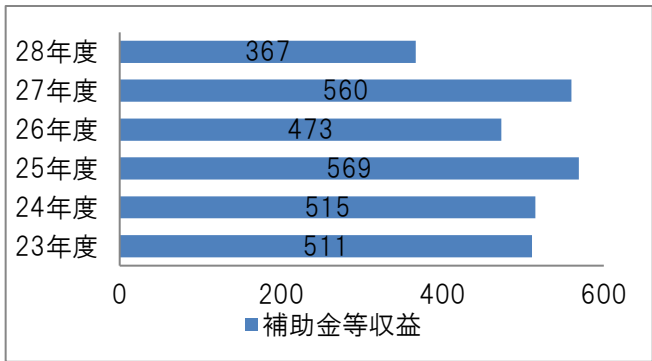
- ・ 受託研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。
- ・ 平成28年度は、受託研究収益が減少した一方で、寄附金収益が増加しました。



補助金等収益	施設費収益
367 百万円 対前年度 ▲194百万円	58 百万円 対前年度 ▲26百万円

- ・国等から交付された大学改革推進等補助金（GP）等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・平成28年度は、特設講座が終了したこと等に伴い、収益化額が減少しています。

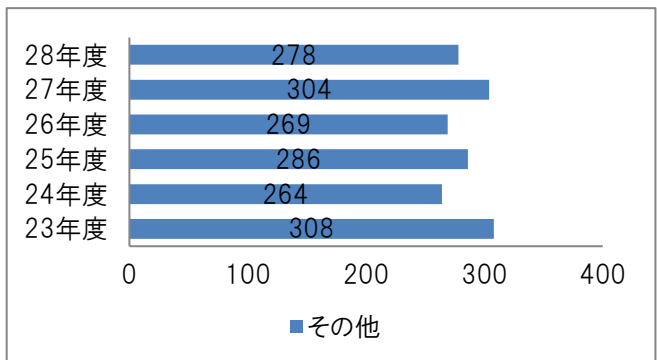
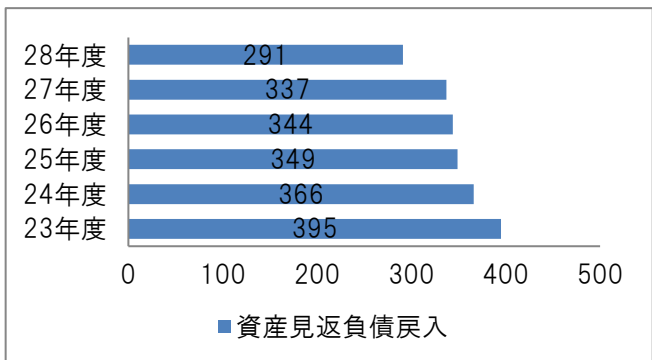
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。



資産見返負債戻入	その他
291 百万円 対前年度 ▲47百万円	278 百万円 対前年度 ▲26百万円

- ・固定資産を取得した際に計上した資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、地方独立行政法人会計の特徴的な科目です。
- ・平成19年度の法人化の際に、北海道より譲与された備品等の減価償却額が減少しています。

- ・財産貸付料収入などの雑益が含まれます。



財務報告書 2017

平成29年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局
経営企画課財務室